

▼インターネット(スマホでも)  
お申込みできます

ご加入いただけるのは  
組合員とご家族  
従業員とご家族です。

ネットからのお申込は

QRコードから▼ または PC <https://www.zenin.seagullagt.net>



▶資料請求(申込用紙が必要な方)は ☎0120-041-149

お問い合わせ先

東京海上日動火災保険株式会社  
代理店 有限会社シーガル  
〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区  
宮前町8-15-402  
TEL: 0120-041-149  
受付時間: 平日9:00~17:00

引受保険会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
広域法人部 法人第二課  
〒104-8014 東京都千代田区三番町6-4  
TEL: 03-3515-4153  
受付時間: 平日9:00~17:00

この保険は、全国飲食業生活衛生同業組合連合会を契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。  
保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として全国飲食業生活衛生同業組合連合会が有します。

2024年4月作成: 24T-000097

全国飲食業生活衛生同業組合連合会  
団体総合生活保険(サービスのご案内)

東京海上日動  
TOKIO MARINE  
NIPPON



所得補償  
がん補償  
介護補償  
個人賠償

団体割引  
10%  
\*1

このパンフレットは  
組合員のご家族  
従業員のご家族の皆さま  
にもご案内ください

お申込み用紙請求は  
☎0120-041-149 シーガルへ



インターネット(スマホでも)

全国飲食業生活衛生同業組合連合会の組合員とご家族・従業員とご家族の方々が対象です。

このパンフレットは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

ご不明な点等がある場合には、パンフレット等記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。  
今回更新いただく内容に一部改定があります。補償内容・保険料等の主な改定点は別紙のとおりとなりますので、  
今年度募集のパンフレット等とあわせてご確認ください。 \*1 所得補償・がん補償・介護補償:10% (個人賠償:5%)

・既に加入されている方はサービスが受けられます。

「日頃の様々な悩み」から「もしも」のときまでバックアップ！

東京海上日動のサービス体制なら安心です。 **自動セット** でご利用ください

- ・ **メディカルアシスト** お電話にて各種医療に関するご相談に応じます。また、夜間の救急医療機関や最寄りの医療機関をご案内します。
- ・ **介護アシスト** お電話にてご高齢の方の生活支援や介護に関するご相談に応じ、優待条件でご利用いただける各種サービスをご紹介します。
- ・ **デイリーサポート** 法律・税務・社会保険に関するお電話でのご相談や毎日の暮らしに役立つ情報をご提供します。
- ・ **認知症アシスト** 脳機能の維持向上に役立つトレーニングから、認知症になった場合のご本人やご家族等を支えるサービスまで、幅広くご提供します。  
(介護補償にご加入いただいた場合)

ご加入いただけるのは(保険の対象となる方)

組合員とご家族

(配偶者、お子様、ご両親、ご兄弟、および組合員と同居されている親族の方)

従業員とご家族

(配偶者、お子様、ご両親、ご兄弟、および従業員と同居されている親族の方)



私、経営者で組合員



私、組合員の家族



私たち、従業員



私たち、従業員の家族

サービスのご案内

「日頃の様々な悩み」から「もしも」のときまでバックアップ！  
東京海上日動のサービス体制なら安心です。

※サービスの内容は変更・中止となる場合があります。  
※サービスのご利用にあたっては、グループ会社・提携会社の担当者が、「お名前」「ご連絡先」「団体名」等を確認させていただきますのでご了承願います。

・ **メディカルアシスト** **自動セット**

お電話にて各種医療に関するご相談に応じます。また、夜間の救急医療機関や最寄りの医療機関をご案内します。



受付時間 \*1: 24時間365日  
**0120-708-110**

\*1 予約制専門医相談は、事前予約が必要です(予約受付は、24時間365日)。

**緊急医療相談**

常駐の救急科の専門医および看護師が、緊急医療相談に24時間お電話で対応します。

**医療機関案内**

夜間・休日の受付を行っている救急病院や、旅先での最寄りの医療機関等をご案内します。

**予約制専門医相談**

様々な診療分野の専門医が、輪番予約制で専門的な医療・健康電話相談をお受けします。

**がん専用相談窓口**

がんに関する様々な悩みに、経験豊富な医師とメディカルソーシャルワーカーがお応えします。

**転院・患者移送手配 \*2**

転院される時、民間救急車や航空機特殊搭乗手続き等、一連の手配の一切を承ります。

\*2 実際の転院移送費用は、お客様にご負担いただけます。

・ **介護アシスト** **自動セット**

お電話にてご高齢の方の生活支援や介護に関するご相談に応じ、優待条件でご利用いただける各種サービスをご紹介します。



受付時間：  
いずれも 電話介護相談 : 午前9時～午後5時  
土日祝・各種サービス優待紹介 : 午前9時～午後5時  
年末・年始を除く

**0120-428-834**

**電話介護相談**

ケアマネジャー・社会福祉士・看護師等が、公的介護保険制度の内容や利用手続き、介護サービスの種類や特徴、介護施設の入所手続き、認知症への対処法といった介護に関するご相談に電話でお応えします。認知症のご不安に対しては、医師の監修を受けた「もの忘れチェックプログラム\*1」をご利用いただくことも可能です。

\*1 お電話でいくつかのアンケートにお答えいただき、その回答結果に基づいて、受診のおすすめや専門医療機関のご案内等を行います。

**インターネット介護情報サービス**

情報サイト「介護情報ネットワーク」を通じて、介護の仕方や介護保険制度等、介護に関する様々な情報をご提供します。

[ホームページアドレス] [www.kaigonw.ne.jp](http://www.kaigonw.ne.jp)

**各種サービス優待紹介 \*2**

「家事代行」「食事宅配」「住宅リフォーム」「見守り・緊急通報システム」「福祉機器」「有料老人ホーム・高齢者住宅」「バリアフリー旅行」といったご高齢の方の生活を支える各種サービスについて優待条件でご利用いただける事業者をご紹介します。\*3

※お住まいの地域によってはご利用いただけなかったり、優待を実施できないサービスもあります。

\*2 本サービスは、サービス対象者(「ご注意ください」をご参照ください。)に限りご利用いただけます。

\*3 サービスのご利用にかかる費用については、お客様にご負担いただけます。

・ **デイリーサポート** **自動セット**

法律・税務・社会保険に関するお電話でのご相談や毎日の暮らしに役立つ情報をご提供します。



受付時間：  
いずれも 法律相談 : 午前10時～午後6時  
土日祝・税務相談 : 午後2時～午後4時  
年末・年始を除く 社会保険に関する相談 : 午前10時～午後6時  
暮らしの情報提供 : 午前10時～午後4時

**0120-285-110**

**法律・税務相談**

提携の弁護士等が身の回りの法律や税金に関するご相談に電話でわかりやすくお応えします。また、ホームページを通じて、法律・税務に関するご相談を24時間電子メールで受け付け、弁護士等の専門家が電子メールでご回答します。

[ホームページアドレス] [www.tokiomarine-nichido.co.jp/contractor/service/consul/input.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/contractor/service/consul/input.html)

※弁護士等のスケジュールとの関係でご回答までに数日かかる場合があります。

**社会保険に関する相談**

公的年金等の社会保険について提携の社会保険労務士がわかりやすく電話でご説明します。

※社会保険労務士のスケジュールとの関係でご回答までに数日かかる場合があります。

**暮らしの情報提供**

グルメ・レジャー情報・冠婚葬祭に関する情報・各種スクール情報等、暮らしに役立つ様々な情報を電話でご提供します。

## 認知症アシスト

自動セット

【対象となる補償】  
介護補償にご加入いただいた場合

脳機能の維持向上に役立つトレーニングから、認知症になった場合のご本人やご家族を支えるサービスまで、幅広くご提供します。

受付時間：緊急連絡ステッカー：午前9時～午後5時  
 いずれも土日祝・年末・年始を除く  
 「認知症の人と家族の会」紹介：午前9時～午後5時  
 0120-775-677  
 脳健康度チェック：午前9時～午後5時  
 0120-002-531  
 認知症介護電話相談：午前9時～午後5時  
 0120-801-276

## 検索支援サービス

### 【緊急連絡ステッカー】

「緊急連絡ステッカー」をご希望に応じてお送りします\*1。行方不明となった認知症の方を発見した方が持ち物に貼付された「緊急連絡ステッカー」に記載のフリーダイヤルに連絡してIDを入力すると、連絡先等の個人情報を公開せずにご家族等と通話することができます。

\*1 ステッカーのお申込みは、保険の対象となる方が医師から認知症の診断を受けている場合に、初年度契約からの連続した保険期間中または補期間中を通じて1回に限ります。ステッカーはフリーダイヤルにて受け付けた日の翌月末頃発送します。

※ステッカーの有効期限は登録から3年2か月です。有効期限後もステッカーをご利用される場合は、(一社)セーフティネットリンケージへご入会いただき、会費等のお支払いが必要となります。

### 【検索協力支援アプリ「みまもりあいアプリ」】

『みまもりあいアプリ』は、(一社)セーフティネットリンケージが取り組む「みまもりあいプロジェクト\*2」の支援ツールです。ご家族や介護ヘルパー等、認知症の方の行方不明時に協力いただける方にあらかじめ本アプリをダウンロードしていただくことで、行方不明時に、「検索依頼」と「行方不明の方の情報や顔写真」を一斉送信することができます。配信情報は、アプリ内の発見ボタンを押すことで協力者に発見・御礼通知を配信するとともに消去されます。

\*2 「緊急連絡ステッカー」と「検索協力支援アプリ」を使って、外出時の万一の事態(行方不明・事故等)に、地域で助け合える協力者を増やし、見守り合える街を育てる活動です。



Android iPhone  
平仮名「みまもりあい」で検索、または左記二次元コードでアプリを取得しご利用ください。  
みまもりあいプロジェクト

## 脳健康度チェック

パソコン・スマートフォン・タブレットを用いたトランプテストで「脳健康度」をセルフチェックできるサービス『のうKNOW』をご提供します。保険の対象となる方ご自身にて短時間(約15分)で測定することができ、定期的に脳健康度チェックに取り組んでいただけます。

※本サービスは診察および診断等の医療行為を行うものではありません。

※本サービスは保険の対象となる方に限りご利用いただけます。

※お客様のパソコン・スマートフォン・タブレットのブラウザ環境により、ご利用いただけない場合があります。

## 脳機能向上トレーニング

(例)NeUが提供する脳機能向上トレーニング(『脳を鍛えるトレーニング』)をご利用いただけます。

監修は、「脳トレ」第一人者の川島隆太氏で、長年にわたる脳科学研究の知見を基にしています。

本トレーニングは、記憶力や注意力等脳機能の維持向上を目的としたものであり、継続的なトレーニングにより効果を実感することができます。

脳機能向上トレーニング『脳を鍛えるトレーニング』  
【ホームページアドレス】 <https://tmnf-brain-training.jp>



左記二次元コードを読み取り、表示に従い、加入者証券番号の入力およびユーザ登録を行っていただきご利用ください。



監修：川島隆太氏

※本トレーニングは医療行為を行うものではありません。

※本トレーニングは保険の対象となる方に限りご利用いただけます。

※お客様のパソコン・スマートフォン・タブレットのブラウザ環境により、ご利用いただけない場合があります。

## 認知症介護電話相談

ケアマネジャー・社会福祉士・看護師等が、認知症の対処法等のご相談に電話でお応えします。

認知症のご不安に対しては、医師の監修を受けた「もの忘れチェックプログラム\*3」をご利用いただくことも可能です。

\*3 お電話でいくつかのアンケートにお答えいただき、その回答結果に基づいて、受診のおすすめや専門医療機関のご案内等を行います。

## 「認知症の人と家族の会」の紹介

認知症の方またはそのご家族の方に対して、「(公社)認知症の人と家族の会\*4」をご紹介します。\*5

\*4 認知症とともに生きることの支援や、認知症に対する社会的理解を広める啓発活動を行っている法人です。

\*5 年会費については、お客様にご負担いただけます。

# ご加入方法

所得補償・がん補償・介護補償・個人賠償補償

保険期間は2024年8月1日午後4時～

2025年8月1日午後4時

新規および更新の方は「重要事項説明書」「ご加入内容確認書(意向確認事項)」を必ずご確認ください。

更新ご加入の方(中途加入も含む)

前年同等プランで更新される方

今年度の募集パンフレット等に記載の内容に

ご同意いただける方につきましては、特段の

ご加入手続きは不要です。内容についてお手

元に届く更新用加入依頼書を必ずご確認ください。

現在ご加入の方につきましては

募集期間終了日(6月14日)までにご加入の方

から特段のお申し出または保険会社からのご案内が

ない限り、当団体は、今年度の募集パンフレット等

に記載の保険料・補償内容で引受保険会社に保険契約

を申し込みますので、変更を希望される方のみ取扱い

担当者まで加入依頼書(変更書類)をご提出ください。

(更新時には保険料が年齢等により変更となったり、

健康状態や年齢により保険会社側から加入をお断り

させていただく場合がありますので、ご了承ください。

い。

## 保険の対象となる方

(被保険者ご本人の範囲)加入できる年齢は保

険料表に記載しております。

本保険にご加入いただけるのは、全国飲食業生活衛

生同業組合連合会の組合員または従業員とその配偶

者、お子様、ご両親、ご兄弟、組合員または従業員

と同居されている親族です。

新規お申し込みは、インターネット(スマホ)からお申込ください。または、加入書類をご請求いただき、ご記入のうえご提出ください。



募集メ切日：2024年6月14日 QRコード

以後毎月20日(ネット申込は月末)締切、翌月1日補償開始、2025年8月1日午後4時までの補償となります。

## 掛金のお払込

掛金(保険料)は、保険開始月の翌日より毎月12日(金融機関の休業日である場合には、翌営業日)に引き落としとなります。なお、通帳には「MBS」等と記帳されます。

役員・従業員をとりまとめ、法人や個人事業主が同一の指

定口座(法人名の口座等)から振替することもできます。

(9月12日より引き落とし開始)

## 口座引落とし不能の場合

口座残高不足等の理由により、引落としができなかった場合、翌月に2か月分をお引落しいたします。

## 保険料の払込猶予期間等の取扱い

分割保険料は、払込期日までにお払込ください。払込

期日(口座振替の場合、金融機関所定の振替日が保険

料払込期日となります。)までに分割保険料の入金がない場合には、その払込期日後に起きた事故による損

害等に対しては保険金をお支払いできなかったり、ご契約を解除させていただく場合があります。

## \*所得補償の加入の注意点

$$\begin{matrix} \text{平均月間所得額} \\ (10万円 \times \text{加入人数}) \end{matrix} \leq \begin{matrix} \text{直近12か月の} \\ \text{平均月間所得額} \end{matrix} *$$

加入人数は1口～5口まで

(1口は月10万円の補償)

最高5口 1年間600万円

他社に同様の所得補償がある場合は合算して平均月額所得額※を超えないようお申込みください。

※免責期間が始まる直前12か月における被保険者の所得の平均月額をいいます。



## ご注意ください (各サービス共通)

・ご相談のご利用は、保険期間中(認知症介護電話相談については、補期間中も含みます。)にご相談内容の事柄が発生しており、かつ現在に至るまで保険契約が継続している場合に限りです。

・ご相談の対象は、ご契約者、ご加入者および保険の対象となる方(法人は除きます。)、またはそれらの方の配偶者\*1・ご親族\*2の方(以下サービス対象者とい

ます。)のうち、いずれかの方に日本国内で発生した身の回りの事象(事業活動等を除きます。)とし、サービス対象者からの直接の相談に限りです。

・一部の地域ではご利用いただけないサービスもあります。

・各サービスは、東京海上日動グループ会社または提携会社を通じてご提供します。

・メディカルアシスト、介護アシストの電話相談および認知症アシストは医療行為を行うものではありません。また、ご案内した医療機関で受診された場合の費用はお客様のご負担となります。

\*1 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。婚姻とは異なります。

\*2 6親等以内の血族または3親等以内の姻族をいいます。

# 所得補償

生命保険は治療のために、  
所得補償は家族・従業員・お店のために

**病気**やケガで働けない間、月々の所得が補償されます。\*最長1年間の補償

\*骨髄移植を目的とする骨髄採取手術により入院し働けなくなった場合についても、保険金をお支払いします。

(免責期間(保険金をお支払しない期間))

Aタイプ 7日間・Bタイプ 4日間・Cタイプ 0日間

**入院**はもちろん、**自宅療養**も補償されます。治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を受けていることより全く働けない場合に保険金をお支払いします。

(骨髄移植を目的とする骨髄採取手術により入院し働けなくなった場合についても、保険金をお支払いします)

**さまざまな病気・ケガ**が対象となります。生活習慣病はもちろん、さまざまな病気や交通事故・スポーツ中のケガによる就業不能も補償します。

**条件**をみたせば損金または必要経費に事業主が従業員全員に掛けた場合、条件を満たせば掛け金は損金または必要経費になります。

**ご加入**の際、医師の診査は不要です。加入依頼書等にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

(告知いただいた内容によっては、ご加入をお断りすることがあります。)

**いつでも、どこでも24時間補償**。業務上はもちろん、レジャーや海外旅行中の病気、ケガでお仕事を休まれた場合も補償します。

**天災**もサポート! (Bタイプ°)

天災が原因のケガや病気\*による就業不能も補償

\*①地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって被ったケガや病気

②地震、噴火またはこれらによる津波に伴って生じた事故またはこれらに伴う秩序の混乱に基づいて生じた事故によって被ったケガや病気をいいます。

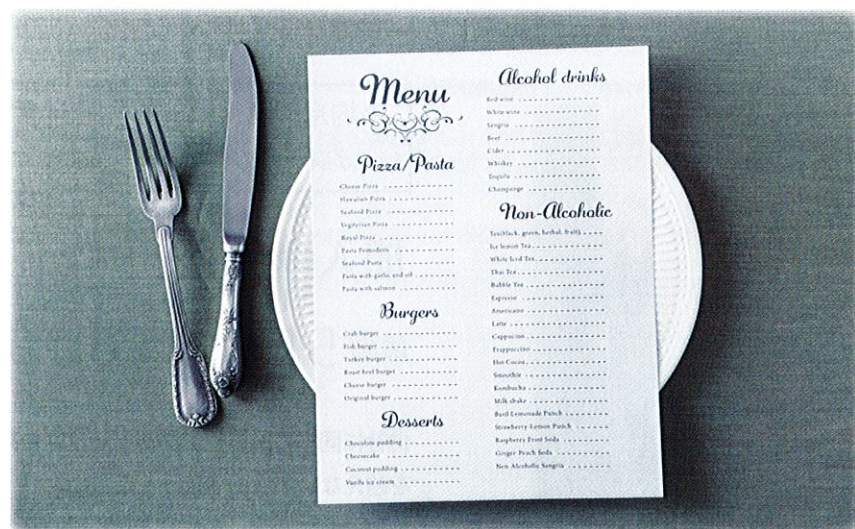
\*所得補償はなぜ必要なの?



\*よくある質問 Q&A



ご加入いただけるのは  
**組合員**と**そのご家族**  
**従業員**と**そのご家族**です。



# 所得補償

補償タイプと保険料 (飲食店主の場合)

保険の対象となる方(被保険者は本人型)

**補償期間**

1年(てん補期間)(※1 保険金をお支払いする1事故あたりの限度期間)

**保険金額**

月々100,000円の補償(1口)(最長1年間)

**加入対象年齢**

新規加入は15歳以上79歳以下、更新の場合は85歳以下

※団体契約の始期日時時点の満年齢をいいます。

**加入口数**

1口~5口

**年間最高600万円**

(5口加入の場合)

**補償タイプ**° ※免責期間とは保険金をお支払いできない期間です。

エコノミー Aタイプ° (免責期間7日間)

スタンダード Bタイプ° (免責期間4日間+天災サポート)

プレミアム Cタイプ° (免責期間0日間)

月払い保険料(1口につき) (基本級別1級) [保険期間=1年] 本人型

型	本人型			
	Aタイプ エコノミープラン	Bタイプ スタンダードプラン	Cタイプ プレミアムプラン	
タイプ名	飲食店主等 (基本級別1級)			
職種	飲食店主等 (基本級別1級)			
てん補期間*1	1年			
免責期間	7日	4日	0日	
加入限度口数	5口			
天災危険補償特約	-	○	-	
保険料 (月払)	15~19歳	480円	570円	660円
	20~24歳	700円	830円	950円
	25~29歳	790円	930円	1,060円
	30~34歳	970円	1,140円	1,290円
	35~39歳	1,210円	1,410円	1,580円
	40~44歳	1,510円	1,750円	1,940円
	45~49歳	1,810円	2,060円	2,250円
	50~54歳	2,100円	2,380円	2,590円
	55~59歳	2,240円	2,540円	2,770円
	60~64歳	2,360円	2,650円	2,850円
65歳~69歳	3,530円	3,970円	4,270円	
70~74歳	4,710円	5,290円	5,700円	
75~79歳	7,070円	7,940円	8,550円	
80~85歳(更新のみ)	9,420円	10,580円	11,390円	

団体割引  
**10%**

※所得補償保険金額は、平均月間所得額\*2の範囲内、かつ、加入限度口数以下で設定してください。

※保険料は保険の対象となる方ご本人の職種や年齢\*3によって異なります。表示の保険料は、基本級別1級(飲食店主、ウェイター、ウエイトレス等の飲食店従業員等)の方を対象としたものです。それ以外の方は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

※保険の対象となる方ご本人としてご加入いただける方は、年齢\*3が満15歳以上満79歳以下\*4の方に限ります。

\*1 保険金をお支払いする1事故あたりの限度期間をいいます。

\*2 直前12か月における保険の対象となる方ご本人の所得\*5の平均月額をいいます。

\*3 団体契約の始期日時時点の年齢をいいます。

\*4 更新契約の場合は、更新時の保険の対象となる方ご本人の年齢が満85歳以下とします。

\*5 「加入依頼書等に記載の職業・職務によって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業不能の発生にかかわらず得られる収入」および「就業不能により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。

上記保険料とは別に全国飲食業生活衛生同業組合連合会が制度運営費150円/月をいただきます。

詳細については《お問い合わせ先》までご連絡ください。

# がん補償

**一生**のうちおおよそ二人に一人が癌と診断されると言われています。

**もちろん**、所得補償でがんによる就業不能は補償されますが、**がん補償**はがんと診断確定された場合\*1や、その治療のための入院や手術費用をお支払いする、**がん**と**徹底的に闘うための補償**です。所得補償に**プラス**してお申込みください。

**再発**・転移しても安心  
がん診断保険金は、初めてがん診断された時はもちろん、継続前契約で既に診断確定されたがんが一旦治癒した後の再発・転移や、新たながんが生じたときでも、それまでのお支払回数にかかわらずお支払いします。  
※支払事由に該当した最終の診断確定日からその日を含めて1年以内であるときは、がん診断保険金をお支払いできません。

**入院1日目**からお支払い  
がんで入院された時、入院保険金は1日目から、支払日数の制限なく入院保険金をお支払いします。

**100万円**  
がんと診断確定されたら100万円\*1、保険金(一時金)としてお支払い。

**ご加入**の際、医師の診査は不要です。加入依頼書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。(告知いただいた内容によっては、ご加入をお断りすることがあります。)

**再発**・転移保険金額 **100万円** (Cタイププレミアムプラン)

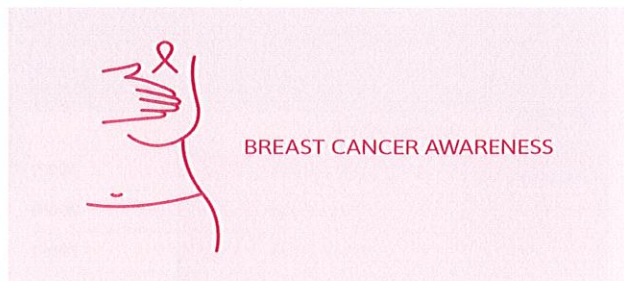
がんで所定の治療\*1を受けた後、治療を受けたがんが再発または転移したと診断確定されたときは、治癒や最終の診断確定日からの期間にかかわらず保険金をお支払いします。  
\*1 所定の治療については、「補償の概要等」をご確認ください。

**抗がん剤治療**保険金額 **5万円** (Cタイププレミアムプラン)

がんで抗がん剤治療\*1を受けたときに保険金をお支払いします。  
\*1 対象となる抗がん剤治療については、「補償の概要等」をご確認ください。また、抗がん剤治療保険金の支払限度月数は、60か月とします。

**初期**のがんも補償対象「上皮内新生物」や「白血病」も補償対象になります。

**ご本人**として本保険にご加入いただけるのは、全国飲食業生活衛生同業組合連合会の組合員とその家族および従業員とその家族の方です。



## お支払いする保険金 (1口あたり)

がん診断	がんと診断確定*1されたときに、保険金(一時金)として	100万円
がん入院	がんで入院(日帰り入院を含む)をしたときに入院1日目から1日につき	10,000円
がん手術	がんで手術をしたときに、手術の種類に応じて1回につき*2	10万円・20万円・40万円
がん退院後療養	がんで20日以上継続して入院し、生存して退院したとき	10万円
がん通院	がんで20日以上継続入院し、その前後に通院したときに1日につき*4	7,500円
がん重度一時金	がんで所定の重度状態(がんの進行度がステージⅣに該当すると診断確定された状態)となったときに、一時金として	100万円
がん特定手術	がんで胃全摘除術、片側肺全摘除術等、所定の手術をしたとき	50万円
*5 がん再発転移	がんで所定の治療*5を受けた後、治療を受けたがんが再発または転移したと診断確定されたときは、治癒や最終の診断確定日からの期間にかかわらず保険金をお支払いします。 ※所定の治療については、「補償の概要等」をご確認ください。	100万円
*5 抗がん剤治療	がんで抗がん剤治療*5を受けたときに保険金をお支払いします。 ※対象となる抗がん剤治療については、「補償の概要等」をご確認ください。また、抗がん剤治療保険金の支払限度月数は、60か月とします。	5万円

\*1 がんの診断確定は、病理組織学的所見により、医師等によって診断されることを要します。ただし、病理組織学的検査が行われなかった理由が明らかであり、他の所見による診断確定の根拠が合理的であると認められるときは、他の所見を認めることがあります。

\*2 時期を同じくして\*3 2種類以上の手術を受けた場合には、倍率の最も高い手術についてのみ保険金をお支払いします。

\*3 「時期を同じくして」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。

\*4 1回の継続入院の原因となったがんの治療のための通院について45日を限度とします。

\*5 Cタイププレミアムプラン

# がん補償

もしものがんのリスクに備えて「がん補償」があると安心です。



がんは  
気になる病気よね...

さらに

心配なのは、医療費！

**医療費・自己負担額の例**

(胃がんで15日間入院したケース)

医療費の自己負担額 176,620円  
差額ベッド代他 133,000円

**合計 約30.9万円**

※70歳未満、月給27万円以上51.5万円未満の給与所得者の例  
※医療費の自己負担額は高額療養費制度を利用した場合(実際の自己負担額は個別のケースにより異なります。)

【出典】(公財)生命保険文化センター「医療保障ガイド」(2022年10月改訂版)をもとに東京海上日動にて作成

だから

まとまった資金の  
準備ができると安心です。

日本の「がん(悪性新生物)」の  
総患者数は、約465万人！

主ながん(悪性新生物)の患者数 (単位:万人)

悪性新生物	総数	男性	女性
胃	28.1	18.7	9.5
結腸および直腸	32.4	16.8	15.6
肝および肝内胆管	8.9	6.2	2.7
気管、気管支および肺	32.8	19.5	13.4
乳房	83.8	0.6	83.2

※総患者数は、平均診療間隔を用いて算出するため、男性と女性の合計が総数に合わない場合があります。

【出典】「令和2年患者調査」(厚生労働省)をもとに東京海上日動にて作成

一生のうち、おおよそ2人に1人が  
がんと診断されるといわれています。

# がん補償保険料

保険の対象となる方(被保険者は本人型)

## 保険金額・保険料表(1口あたり) 月払い

保険期間: 1年間、団体割引: 10%

団体割引  
10%

型		本人型	
性別		男性・女性共通	
タイプ名		Aタイプ スタンダードプラン	Cタイプ プレミアムプラン
加入限度口数		2口	1口
ご本人	がん診断保険金額	100万円	100万円
	がん入院保険金日額(1日あたり)	1万円	1万円
	がん手術保険金額(手術の種類により)	10万円・20万円・40万円	10万円・20万円・40万円
	がん退院後療養保険金額	10万円	10万円
	がん通院保険金日額(1日あたり)	7,500円	7,500円
	がん重度一時金額	100万円	100万円
	がん再発転移保険金額		100万円
	抗がん剤治療保険金額		5万円
	がん特定手術保険金額	50万円	50万円
保険料 (月払)	5~9歳	200円	260円
	10~14歳	270円	340円
	15~19歳	210円	290円
	20~24歳	180円	280円
	25~29歳	320円	480円
	30~34歳	620円	860円
	35~39歳	930円	1,380円
	40~44歳	1,350円	2,110円
	45~49歳	1,990円	3,140円
	50~54歳	2,910円	4,690円
	55~59歳	4,550円	7,300円
	60~64歳	6,870円	10,850円
65~69歳	9,510円	14,940円	
70~74歳	12,260円	19,400円	
75~79歳	14,860円	23,470円	
80~84歳	17,350円	26,800円	
85~89歳	19,510円	28,770円	

※保険料は、保険の対象となる方で本人の年齢\*1によって異なります。

※保険の対象となる方で本人としてご加入いただける方は、年齢\*1が、満5歳以上満89歳以下の方に限ります。

\*1 団体契約の始期日時時点の年齢をいいます。

上記保険料とは別に全国飲食業生活衛生同業組合連合会が制度運営費 150円/月をいただきます。  
詳細については《お問い合わせ先》までご連絡ください。

40歳  
Aタイプ  
1,350円

# 個人賠償責任

保険の対象となる方(被保険者は家族型)



セットで加入  
家族型  
(月々220円)

国内: 無制限  
国外: 1億円

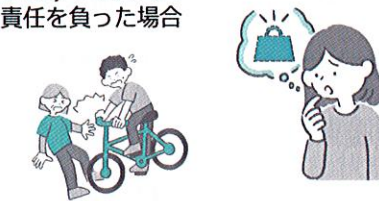
自転車を運転中に歩行者と接触してケガをさせた... **9,521万円**

(加害者への支払い 命令神戸地方裁判所 2017年4月判決事例)

## ■日常生活全般プラン

国内外において、日常生活で他人にケガをさせたり他人の物を壊してしまったときや、国内で他人から借りた物や預かった物(受託品)\*1を国内外で壊したり盗まれてしまったとき等、法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。

- 例えば...
- ・自転車を運転中、誤って歩行者と接触し、ケガをさせた。
  - ・買い物中、誤って商品を壊してしまった。
  - ・レンタルしたドレスを誤って破ってしまった。
  - ・他人から借りた旅行カバンを盗まれた。
  - ・ゴルフ中にボールをぶつけてケガをさせてしまった。



\*1 携帯電話、スマートフォン、ノートパソコン、タブレット端末、自転車、コンタクトレンズ、眼鏡、1個または1組で100万円を超える物等は、受託品に含まれません。

相手方との示談交渉は東京海上日動にお任せください!

国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。



## 保険金額・保険料表

保険期間: 1年間、団体割引: 5%  
※ご加入口数は1口のみです。

プラン		日常生活全般プラン
タイプ名		Cタイプ
個人賠償責任	型	家族型
	保険金額	国内: 無制限 国外: 1億円
保険料(月払)		220円

【「保険の対象となる方(被保険者)について」における用語の解説】

(1) 配偶者: 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます(以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限り、婚姻とは異なります。)

① 婚姻意思\*1を有すること ② 同居により夫婦同様の共同生活を送っていること

(2) 親族: 6親等以内の血族または3親等以内の姻族をいいます(配偶者を含みません。)

(3) 未婚: これまでに婚姻歴がないことをいいます。

\*1 戸籍上の性別が同一の場合は夫婦同様の関係を将来にわたり継続する意思をいいます。

(ご注意)

個人賠償責任にご加入の場合は、所得補償、がん補償、介護補償のいずれかにもご加入いただく必要があります。

# 介護補償保険料

保険の対象となる方(被保険者は本人型)

公的介護保険はあるけれど…

もしもの介護に備えて「介護補償」があると安心です。

介護にかかるお金は…?

一時費用\*1の合計: **平均74万円**

月々の介護費用とは別に、自宅の改修費用や車いす、特殊ベッド等の福祉用品の購入等により初期費用がかかる可能性があります。

\*1 公的介護保険サービスの自己負担費用を含みます。  
【出典】(公財)生命保険文化センター「2021(令和3)年度生命保険に関する全国実態調査」をもとに東京海上日動にて作成

要介護状態初期に一時的に必要となる主な費用の目安(自費で購入した場合)	<b>車いす</b> ■自走式 …… 6~19万円 ■電動式 …… 30~50万円	<b>階段昇降機</b> ■いす式直線階段用 …… 50万円~ ※工事費別途	<b>特殊寝台(介護ベッド)</b> ■15~50万円 ※機能により金額は異なる
	<b>手すり</b> ■廊下・階段・浴室用等… 1万円~ ※サイズ・素材により金額は異なる(工事費別途)	<b>ポータブルトイレ</b> ■水洗式 …… 1~4万円 ■シャワー式 …… 10~25万円	<b>移動用リフト</b> ■据置式 …… 20~50万円 ■レール走行式 …… 50万円~ ※工事費別途

【出典】(公財)生命保険文化センター「介護保障ガイド(2021年7月改訂版)をもとに東京海上日動にて作成

**だから 介護にはまとまった資金準備があると安心です。**

## 保険金額・保険料表 (月払い)

年金払介護補償保険金額 **100万円**

保険期間: 1年間  
てん補期間\*1: 10年(10回目の保険金支払基準日まで)  
団体割引: 10%  
※ご加入口数は1口のみです。

団体割引  
**10%**

型		本人型	
タイプ名		Aタイプ	
年金払介護補償保険金額		100万円	
年齢	性別	男性	女性
	40~44歳		140円
45~49歳		170円	150円
50~54歳		230円	210円
55~59歳		340円	300円
60~64歳		710円	650円
65~69歳		1,790円	2,200円
70~74歳		3,370円	5,000円
75~79歳		7,730円	11,720円
80~84歳(更新のみ)		13,540円	21,230円

56歳女性  
300円

※ご加入後、保険金のお支払い方法を一時金払に変更することはできません。  
※保険料は、保険の対象となる方で本人の年齢\*2や性別によって異なります。  
※保険の対象となる方で本人としてご加入いただける方は、年齢\*2が、満40歳以上満79歳以下\*3の方に限ります。  
\*1 年金払介護補償保険金の保険金支払事由に該当したその日から起算して10年(10回目の保険金支払基準日まで)をいいます。  
\*2 団体契約の始期日時点の年齢をいいます。  
\*3 更新契約の場合は、更新時の保険の対象となる方で本人の年齢が満84歳以下とします。

上記保険料とは別に全国飲食業生活衛生同業組合連合会が制度運営費 150円/月をいただきます。  
詳細については《お問い合わせ先》までご連絡ください。

# 介護についての豆知識

①



## 公的介護保険制度とは

### 【公的介護保険制度の概要】

公的介護保険制度とは、介護保険法に基づく社会保険制度をいい、40歳以上の国民は全員加入し介護保険料を支払う義務があります。これにより、40歳以上の方が介護が必要になった時に所定の介護サービスを受けることができます。

### 【公的介護保険制度の被保険者(加入者)と受給要件】

公的介護保険制度における受給要件は、下表のとおり、年齢によって異なります。

年齢	39歳以下	40歳以上64歳以下*1	65歳以上
被保険者	被保険者ではない	第2号被保険者	第1号被保険者
受給要件	対象外	要介護、要支援状態が、末期がん・関節リウマチ等の加齢に起因する疾病(16種類の特定疾病)による場合に限定	原因を問わず以下の状態となったとき ● 要介護状態(寝たきり、認知症等で介護が必要な状態) ● 要支援状態(日常生活に支援が必要な状態)

\*1 公的医療保険(国民健康保険・被用者保険)の加入者である必要があります。

### 【公的介護保険制度における要介護(要支援)状態区分について】

公的介護保険制度における要介護(要支援)状態区分は、下表のとおり、要支援および要介護に分けられており、さらに、要支援は2つに、要介護は5つに分けられています。

状態区分	状態像
非該当(自立)	歩行や起き上がり等の日常生活上の基本的動作を自分で行うことが可能であり、かつ薬の内服、電話の利用等の手段的日常生活動作を行う能力もある状態。
要支援	1 日常生活上の基本的動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、日常生活動作の介助や現在の状態の悪化の防止により要介護状態となることの予防に資するよう、手段的日常生活動作について何らかの支援を要する状態。
	2 要支援1の状態から、手段的日常生活動作を行う能力がわずかに低下し、何らかの支援が必要となる状態の人で、部分的な介護が必要な状態にあるが、予防給付の利用により、現状維持及び状態改善が見込まれる状態。
要介護	1 要支援2の状態から手段的日常生活動作を行う能力がさらに低下し、部分的な介護が必要となる状態の人で、心身の状態が安定していない状態や認知機能の障害等により予防給付の利用について適切な理解が困難である状態。
	2 要介護1の状態に加え、日常生活動作についても部分的な介護が必要となる状態。
	3 要介護2の状態と比較して、日常生活動作及び手段的日常生活動作の両方の観点からも著しく低下し、ほぼ全面的な介護が必要となる状態。
	4 要介護3の状態に加え、さらに動作能力が低下し、介護なしには日常生活を営むことが困難となる状態。
	5 要介護4の状態よりさらに動作能力が低下しており、介護なしには日常生活を営むことがほぼ不可能な状態。

# 介護についての豆知識 ②

介護になったときの費用が不安...

もしもの介護に備えて「介護補償」があると安心です。

### 介護は身近なリスク

●要介護・要支援認定者数および認定率

【出典】「令和2年度介護保険事業状況報告」(厚生労働省) 「令和2年人口推計」(総務省統計局)をもとに東京海上日動にて作成

75～84歳では約5人に1人が要介護・要支援状態に

### 介護期間と自己負担額

介護期間 平均61.1か月  
月々の自己負担額 平均8.3万円

介護は長期間におよびます  
・約64%が3年以上  
・平均介護期間61.1か月

月々の自己負担額 平均8.3万円

費用総額のシミュレーション(1人あたり)

月々の自己負担額 平均8.3万円 × 介護期間 平均61.1か月 = 費用総額 平均約507万円

※公的介護保険の自己負担分・公的介護保険対象外の自費出費額  
【出典】(公財)生命保険文化センター「2021(令和3)年度生命保険に関する全国実態調査」をもとに東京海上日動にて作成

実際に「公的介護保険だけでは不十分」と感じている人が全体の59.1%にのぼっており、費用面での心配をしている方が多くいます。  
【出典】(公財)生命保険文化センター「令和元年度生活保障に関する調査」

だから 長期にわたる介護費用に備えた資金準備があると安心です。

### 介護と仕事の両立

●働きながら介護を行っている人の平均介護時間

男性	平日*1	1.2時間
男性	休日*2	3.3時間
女性	平日*1	1.9時間
女性	休日*2	4.7時間

【出典】「平成29年就業構造基本調査」(総務省統計局)をもとに東京海上日動にて作成

●介護開始前(離職前)、転職直後の平均年収比較

男性	介護開始前	557万円
男性	転職直後	342万円
女性	介護開始前	350万円
女性	転職直後	175万円

【出典】(公財)ダイヤ高齢社会研究財団「仕事と介護の両立と介護離職に関する調査(平成27年3月)」をもとに東京海上日動にて作成

毎年約10万人が介護離職しています

働きながら介護を行う場合、経済的負担に加え、長時間にわたる介護で時間的にも大きな負担が生じます。

介護離職を余儀なくされた場合、転職後の年収が大きく減少するリスクがあります。

だから 介護と仕事の両立ができるよう、ホームヘルパーの活用も見据え、資金準備があると安心です。

### 増加する認知症患者数の将来推計

65歳以上の認知症患者数	2012年	2015年	2020年	2025年	2030年	2040年
	462万人	517万人	602万人	675万人	744万人	802万人

【出典】「平成29年版高齢社会白書(概要版)」(内閣府)をもとに東京海上日動にて作成

認知症患者数は年々増加することが見込まれます。

介護補償は認知症アシスト(サービスのご案内をご参照ください)で認知症の方ご本人やご家族を支援します。

# 介護についての豆知識 ③

## 介護補償【認知症アシスト付き年金払介護】(介護への備え)

保険の対象となる方が公的介護保険制度に基づく要介護3以上になった場合に、最初に要介護状態\*1となった日から毎年1回、その日を含めて最大で10年間(10回)にわたり保険金をお支払いします。

### <4つの特長>

- 長期間の安心  
介護補償(年金払介護)では、最大10年間(10回)保険金を受け取ることができますので、介護期間が長期にわたった場合も安心です。
- リーズナブルな保険料  
保険金のお支払いを年金払方式とし、要介護状態\*1が継続している期間にのみ保険金をお支払いすることにより、リーズナブルな保険料を実現しています。
- 仕事と介護の両立  
親を保険の対象となる方にご加入いただくことで、親が要介護状態\*1となった場合に備えることができます。
- 充実のサービス(認知症アシスト)  
要介護状態\*1となった後も継続的に保険金をお支払いする介護補償(年金払介護)では、認知症になっても安心して生活いただけるよう、保険の対象となる方とご家族を支える各種サービス(検索支援サービス等)をご用意しています(サービスの具体的な内容は、「サービスのご案内」をご参照ください。)

\*1 公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態をいいます。

### <介護補償(年金払介護)の保険金お支払い方法>

【例】年金払介護補償保険金額(年額)：100万円、保険期間：1年間(2023/10/1～2024/10/1) てん補期間\*1：10年(10回目の保険金支払基準日\*2まで)

1回目の保険金支払基準日\*2 1年 2回目の保険金支払基準日\*2 1年 3回目の保険金支払基準日\*2 10回目の保険金支払基準日\*2

※てん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2時点で、公的介護保険制度に基づく要介護3以上から要介護2以下に回復している年度は保険金をお支払いしません。その翌年度以降のてん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2に、再度要介護状態\*3に該当している場合は、保険金のお支払いを再開します。この場合も、てん補期間\*1は1回目の保険金支払基準日\*2から通算した期間となります。  
(例：最初に保険金をお支払いした後、すぐに回復したため、翌年以降5年間保険金をお支払いしていない場合、その翌年に別の理由で再度要介護状態\*3に該当し、それが継続したとしても、その後の保険金のお支払いは最大4年分となります。)

※てん補期間\*1中に死亡した後の保険金支払基準日\*2においては、保険金をお支払いしません。

\*1 第1回年金払介護補償保険金の保険金支払事由に該当したその日から起算して10年(10回目の保険金支払基準日\*2まで)をいいます。  
\*2 1回目は最初に保険金を支払うべき要介護状態\*3に該当した日、2回目以降は1回目から数えて翌年以降の毎年の該当日をいいます。  
\*3 公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態をいいます。



## 告知の大切さに関するご案内

# 告知の大切さについて、 ご説明させていただきます。

所得補償・団体長期障害所得補償(GLTD)・医療補償・がん補償・介護補償に新たにご加入される場合、または更新にあたり補償内容をアップされる場合\*1には、保険の対象となる方(被保険者)について健康状態の告知が必要です。

\*1 更新前契約に補償対象外となる病気・症状が設定されており、告知書ご記入日時時点で、告知書記載の質問すべてのご回答が「なし」となる場合を含みます(更新後契約については補償対象外となる病気・症状を補償対象にすることができます。告知書にご回答がない場合には、更新前契約と同条件での更新となります。)

※医療補償またはがん補償で家族タイプにご加入される場合には、保険の対象となる方(被保険者)ご本人のほか、配偶者様や満23歳未満のお子様全員についても告知が必要です。

告知書は保険の対象となる方(被保険者)ご自身がありのままにご記入ください。\*

告知の内容が正しくない場合には、ご加入が解除され、保険金をお受け取りいただけないことがあります。\*

※一括告知制度を採用している場合は、ご契約者が一括してご記入ください。

\*1 ご家族の方を保険の対象とする場合は、ご家族の方ご自身がご記入ください。  
介護補償にのみ(追加)加入される場合で、団体構成員のご家族(団体構成員の配偶者、子供、両親、兄弟及び団体構成員と同居の親族)を保険の対象となる方(被保険者)とするときには、被保険者からのご依頼を受けた団体構成員が被保険者の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただけます。

\*2 更新時に補償内容をアップされた場合、補償内容をアップされた部分については、保険金をお受け取りいただけないことがあります。

過去に病気やケガをされたことがある場合、お引受けできない場合があります。

お申込み後、保険金請求時等に、  
告知内容についてご確認させていただく場合があります。



告知いただく内容例は次のとおりです。

- ① 入院または手術の有無(予定を含みます。)
- ② 告知書記載の特定の病気・症状に関する、過去2年以内の医師の指示による検査・治療(投薬の指示を含みます。)の有無
- ③ 過去2年以内の健康診断・人間ドックにおける所定の検査の異常指摘の有無等

以下のケースも告知が必要となります。

- 現在、医師に入院や手術をすすめられている。
- 過去2年以内に告知書記載の特定の病気について医師の指示による投薬を受けていたが、現在は完治している。
- 過去2年以内の健康診断における告知書記載の検査で「要精密検査」と指摘をされたが、精密検査の結果、異常は見つからなかった。

※告知いただく内容は、保険種類等によって異なりますのでご注意ください。詳しくは加入依頼書等の告知項目をご確認ください。

## ご注意ください。

告知書の質問をよくお読みいただき、ご記入ください。

新たな保険契約への切替の場合、新たに告知が必要となる等のご注意いただきたい事項があります。詳しくは、重要事項説明書をご確認ください。

告知すべき内容を後日思い出された場合には、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

所得補償・団体長期障害所得補償(GLTD)・医療補償・介護補償については、支払責任の開始する日より前に被っているケガまたは病気・症状を原因として、支払責任を開始する日以降に就業不能や入院等をされた場合には、その原因が告知対象外のケガまたは病気・症状であったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払対象となることがあります。ただし、支払責任の開始する日から1年を経過した後に開始した就業不能や入院等については、保険金のお支払対象となります。

※お客様控のない加入依頼書の場合は、お手数ですがコピーをお取りいただき大切に保管してください。

※インターネット等によりお手続きされる場合は、告知書へ記入することにかえて、画面上に入力してください。また、本資料中の「告知書」は「健康状態の告知の画面」と読み替えてください。

この資料は告知の大切さについて、その概要を記載したものです。  
告知に関するお問い合わせは、「お問い合わせ先」までご連絡ください。



## ■ 団体総合生活保険 補償の概要等

このパンフレットは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 所得補償

※ご加入いただくタイプによっては保険金のお支払対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料表」等をご確認ください。

病気やケガによって所定の就業不能になった場合\*1に、保険の対象となる方が被る損失に対して保険金をお支払いします。

【ご注意】ただし、死亡された後、または病気やケガが治癒した後は、いかなる場合でも「就業不能」とはいいません。

\*1 骨髄移植を目的とする骨髄採取手術により所定の就業不能になった場合についても、保険金をお支払いします(「骨髄採取手術に伴う入院補償特約」が自動セットされます。)

この補償については、死亡に対する補償はありません。

保険金のお支払対象となっていない身体障害の影響等によって、保険金を支払うべき身体障害の程度が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。詳細は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### [所得補償基本特約] 《保険金をお支払いする主な場合》

病気やケガによって保険期間中に就業不能となり、その期間が継続して免責期間\*1(0日・4日・7日)を超えた場合に、最長1年保険金をお支払いします。

▶保険金額(月額)に就業不能期間(月数)\*2を乗じた額をお支払いします。ただし、保険金額が保険の対象となる方の平均月間所得額\*3を上回っている場合には、その上回る部分については保険金をお支払いできません。

※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。

※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。

\*1 保険金をお支払いしない期間として、契約により取り決めた一定の期間のことをいいます(就業不能の原因が骨髄採取手術の場合は、免責期間を適用しません。)

\*2 「てん補期間\*4内の就業不能の日数」をいいます(就業不能の原因が骨髄採取手術の場合は、4日を加えた日数をいいます。)。お支払額は月単位で計算しますが、端日数が生じた場合は、1か月を30日として日割りで計算します。

\*3 免責期間\*1が始まる直前12か月における保険の対象となる方の所得\*5の平均月額をいいます。

\*4 同一の病気やケガによる就業不能\*6(または骨髄採取手術による就業不能)に対して保険金をお支払いする期間として、契約により取り決めた一定の期間(免責期間\*1終了日の翌日からの期間)のことをいい、この契約では1年となります。

\*5 「加入依頼書等に記載の職業・職務によって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業不能の発生にかかわらず得られる収入」および「就業不能により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。

\*6 就業不能が終了した後、その日を含めて180日を経過した日までに、前の就業不能の原因となった病気やケガ(医学上重要な関係がある病気やケガを含みます。)\*によって再び就業不能となった場合は、後の就業不能は前の就業不能と同一の就業不能とみなします。

### [所得補償基本特約] 《保険金をお支払いしない主な場合》

・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気やケガによる就業不能\*1

・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる就業不能

・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる就業不能(その方が受け取るべき金額部分)

・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガによる就業不能

・無免許運転や酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガによる就業不能

・妊娠、出産、早産または流産によって生じた病気やケガによる就業不能

・妊娠または出産による就業不能

・麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた病気やケガによる就業不能

・保険の対象となる方が被った精神病性障害、知的障害、人格障害、アルコール依存および薬物依存等の精神障害を原因として生じた就業不能

・むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる就業不能

・この保険契約が継続されてきた最初の保険契約(初年度契約といえます。)\*の保険始期時点で、既に被っている病気やケガによる就業不能\*2\*3

・就業不能の原因が骨髄採取手術の場合は、「骨髄採取手術に伴う入院補償特約」をセットした最初の保険契約の保険始期日から、その日を含めて1年を経過した日の翌日の午前0時時点で既に発生している就業不能

等

\*1 「天災危険補償特約」をセットしている場合は、地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気やケガによる就業不能に対しても保険金をお支払いします。

\*2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガによる就業不能についても、初年度契約の保険始期日から1年を経過した後に開始した就業不能については、保険金のお支払対象となります。

\*3 就業不能の原因が告知対象外の病気やケガであったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払対象となることがあります。

※「就業不能」とは、病気やケガの治療のための入院、または入院以外で医師等の治療を受けている(就業不能の原因が骨髄採取手術の場合は、骨髄採取手術を直接の目的として入院している)ことにより、加入依頼書等に記載の職業・職務に終日従事できない状態\*1をいいます。

※「骨髄採取手術」とは、保険の対象となる方が、組織の機能に障害がある者に対して骨髄幹細胞を移植することを目的として骨髄幹細胞を採取する手術をいいます。ただし、骨髄幹細胞の提供者と受容者が同一人となる自家移植の場合を除きます。

\*1 例えば、保険の対象となる方が医師の場合には全日休診、保険の対象となる方が会社員の場合には終日出社できない状態をいいます。したがって、半日でも職業・職務に従事した場合等は、終日従事できない状態とはいいません。

## がん補償

※ご加入いただくタイプによっては保険金のお支払対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料表」等をご確認ください。

保険の対象となる方ががん\*1と診断確定された場合や、その治療のため入院・手術をされた場合等(介護療養型医療施設または介護医療院における入院・手術等を除きます。)に保険金をお支払いたします。

この補償については、死亡に対する補償はありません。

がん\*1と診断確定されたときに、がん\*1以外の身体に生じた障害の影響等によって、がん\*1の病状が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額を支払います。詳細は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

\*1 補償対象となる「がん」とは以下のものをいいます。がんの診断確定は、病理組織学的所見により、医師等によって診断されることを要します。ただし、病理組織学的検査が行われなかった理由が明らかであり、他の所見による診断確定の根拠が合理的であると認められるときは、他の所見を認めることがあります。

悪性新生物および上皮内新生物のことをいい、具体的には、厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害及び死因の統計分類提要 I C D - 10(2013年版)準拠」および「国際疾病分類 - 腫瘍学(N C C 監修)第3版(2012年改正版)」に定められた内容によるものとします。良性腫瘍である子宮筋腫、血管腫および脂肪腫等は、この保険の補償対象となりません。  
なお、「疾病、傷害及び死因の統計分類提要」または「国際疾病分類 - 腫瘍学」において、新たな分類が施行された場合で、新たに「悪性新生物」または「上皮内新生物」に分類された疾病があるときには、その疾病を補償対象に含みます。

【ご注意】初年度契約の保険始期前にがんと診断確定されていた場合は、ご加入者、保険の対象となる方または保険金受取人のその事実の知、不知にかかわらず、ご加入は無効となり、保険金をお支払いできません(この場合、お支払いいただいた保険料を返還できないことがあります。)

## 《保険金をお支払いする主な場合》

[がん補償基本特約] がん診断保険金	<p>保険期間中に以下のいずれかの状態に該当した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■初めてがんと診断確定された場合</li> <li>■この保険契約が継続契約である場合において、この保険契約が継続されてきた最初の保険契約(初年度契約)から継続前契約までの連続した継続契約のいずれかの保険期間中に既に診断確定されたがん(原発がん)を治療したことにより、がんが認められない状態となり、その後初めてがんが再発または転移したと診断確定されたとき</li> <li>■原発がんとは関係なく、がんが新たに生じたと診断確定された場合</li> </ul> <p>▶がん診断保険金をお支払いたします。ただし、がん診断保険金のお支払いは、保険期間を通じて1回に限りです。また、支払事由に該当した最終の診断確定日からその日を含めて1年以内であるときは、がん診断保険金をお支払いできません。</p>
[がん補償基本特約] がん入院保険金	<p>がんと診断確定され、その診断確定されたがんによって医師等の治療を必要とし、かつ、保険期間中にその治療のため入院(日帰り入院を含みます。)を開始された場合</p> <p>▶がん入院保険金日額に入院期間を乗じた額をお支払いたします。</p> <p>※がん入院保険金が支払われる期間中、さらにがん診断保険金の支払事由に該当しても、がん入院保険金は重複してはお支払いできません。</p>
[がん補償基本特約] がん手術保険金	<p>がんと診断確定され、その治療のため、保険期間中に所定の手術を受けられた場合</p> <p>▶手術の種類に応じてがん入院保険金日額の1.0倍、2.0倍または4.0倍の額をお支払いたします。 ただし、時期を同じくして*1 2種類以上の手術を受けた場合には、倍率の最も高い手術についてのみお支払いたします。</p> <p>*1 「時期を同じくして」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。</p>
[がん補償基本特約] がん退院後療養保険金	<p>がんと診断確定され、保険期間中にがん入院保険金のお支払対象となる入院を開始し、20日以上継続して入院した後、生存して退院された場合</p> <p>▶がん退院後療養保険金をお支払いたします。 ただし、退院日からその日を含めて30日以内に開始した入院については、がん退院後療養保険金をお支払いできません。</p>
[がん補償基本特約] がん通院保険金	<p>がんと診断確定され、保険期間中にがん入院保険金のお支払対象となる入院を開始し、20日以上継続入院をして、以下の条件のすべてを満たす通院(往診を含みます。)をされた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■診断確定されたがんによって医師等の治療を必要としている期間内に行われた通院であること</li> <li>■20日以上継続入院の原因となったがんの治療のための通院であること</li> <li>■20日以上継続入院の開始日の前日からその日を含めて遡及して60日以内(入院前通院期間)または退院日の翌日からその日を含めて180日以内(退院後通院期間)に行われた通院であること</li> </ul> <p>▶がん通院保険金日額に通院日数(実日数)を乗じた額をお支払いたします。 ただし、1回の継続入院の原因となったがんの治療のための通院について45日を限度とします。</p> <p>※がん入院保険金と重複してはお支払いできません。また、退院後通院期間中に新たに20日以上継続入院をされ、入院前通院期間と退院後通院期間に重複する期間があったとしても、保険金は重複してはお支払いできません。</p>
[がん補償基本特約] がん重度一時金	<p>がんと診断確定され、保険期間中に以下のいずれかの状態になった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■その病状が初めて重度状態*1と診断確定された場合</li> <li>■この保険契約が継続契約の場合において、この保険契約が継続されてきた最初の保険契約(初年度契約)から継続前契約までの連続した継続契約のいずれかの保険期間中に既に重度状態*1と診断確定されたがんが、治療したことにより、がんが認められない状態となり、その後初めてがんが再発または転移し、再び重度状態*1と診断確定されたとき</li> </ul> <p>▶がん重度一時金をお支払いたします。 ただし、がん重度一時金のお支払いは、保険期間を通じて1回に限りです。また、支払事由に該当した最終の診断確定日からその日を含めて1年以内であるときは、その診断確定についてはがん重度一時金をお支払いできません。</p> <p>*1 国際対がん連合(UICC)の定めるTNM分類等の病期分類において、がんの進行度がステージIVに該当すると診断確定された状態をいいます。</p>

[がん再発転移補償特約] がん再発転移保険金	<p>がんが認められない状態となったか否かや最終の診断確定日からの経過期間にかかわらず、がんと診断確定され、以下の治療を受けた場合で、治療を受けたがんが保険期間中に再発または転移*1したと診断確定されたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■手術 ■放射線治療 ■抗がん剤治療 ■造血幹細胞移植</li> </ul> <p>▶がん再発転移保険金をお支払いたします。 ただし、がん再発転移保険金のお支払いは、保険期間を通じて1回に限りです。</p> <p>*1 他の臓器に転移した場合に限りです。なお、同一の種類の臓器が複数ある場合は、それらは同じ臓器とみなします。</p>
[抗がん剤治療補償特約] 抗がん剤治療保険金	<p>保険期間中に抗がん剤治療*1を開始した場合</p> <p>▶抗がん剤治療*1をした日の属する各月*2について抗がん剤治療*1を開始した時点の抗がん剤治療保険金をお支払いたします。 ただし、抗がん剤治療保険金の支払限度月数は60か月とします。</p> <p>※抗がん剤治療*1をされた月の翌月1日から、抗がん剤治療*1をすることなくその日を含めて180日を経過した日の翌日以降に再び抗がん剤治療*1をされた場合は、新たに抗がん剤治療*1を開始したものと取り扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*1 以下の条件のすべてを満たす入院または通院をいいます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■診断確定されたがんによって医師等の治療を必要とし、その治療のための入院または通院であること</li> <li>■公的医療保険制度に基づく医科診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表により、抗がん剤*3にかかる薬剤料または処方せん料が算定される入院または通院であること</li> </ul> </li> <li>*2 抗がん剤治療保険金が支払われる月に、さらに別の抗がん剤治療*1をされても、抗がん剤治療保険金は重複してはお支払いできません。</li> <li>*3 診断確定されたがんの治療のため投薬または処方された所定の医薬品*4で、その時点において厚生労働大臣の承認を得ているものをいいます。</li> <li>*4 医薬品の種類によっては、お支払対象とならない場合があります。</li> </ul>
[がん特定手術特約] がん特定手術保険金	<p>がんと診断確定され、がん手術保険金が支払われる場合において、その診断確定されたがんの治療のため保険期間中に以下の手術を受けられた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■胃全摘除術 ■片側肺全摘除術 ■食道全摘除術 ■片側腎全摘除術 ■膀胱(ぼうこう)全摘除術 ■人工肛門(こうもん)造設術 ■喉頭全摘除術(発声機能の喪失を伴うものに限りです。)</li> <li>■四肢切断術(手指・足指を除きます。)</li> </ul> <p>▶がん特定手術保険金をお支払いたします。 ただし、時期を同じくして*1 2種類以上の手術を受けた場合には、いずれか1種類の手術についてのみお支払いたします。</p> <p>*1 「時期を同じくして」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。</p>

## 賠償責任に関する補償

※ご加入いただくタイプによっては保険金のお支払対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料表」等をご確認ください。

### [個人賠償責任補償特約] 《保険金をお支払いする主な場合》

国内外において以下のような事由により、保険の対象となる方が法律上の損害賠償責任を負う場合

- 日常生活に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合
- 保険の対象となる方が居住に使用する住宅の所有、使用または管理に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合
- 電車等\*1を運行不能にさせた場合
- 国内で受託した財物(受託品)\*2を壊したり盗まれた場合
- ▶ 1 事故について保険金額を限度に保険金をお支払いします。

※国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。

※東京海上日動との直接折衝について相手方の同意が得られない場合や保険の対象となる方に損害賠償責任がない場合等には、相手方との示談交渉はできませんのでご注意ください。

※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。

※記載している保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。

※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。

\*1 自動車、電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用具をいいます。

\*2 以下のものは受託品には含まれません。

自動車、原動機付自転車、自転車、船舶、サーフボード、ラジコン模型、携帯電話、スマートフォン、ノート型パソコン、タブレット端末、モバイルWi-Fiルーター、コンタクトレンズ、眼鏡、手形その他の有価証券、クレジットカード、設計書、帳簿、動物や植物等の生物、乗車券、航空券、通貨、貴金属、宝石、美術品、データやプログラム等の無体物、1個または1組で100万円を超える物

等

### [個人賠償責任補償特約] 《保険金をお支払いしない主な場合》

・ご契約者または保険の対象となる方等の故意によって生じた損害

・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害

・職務の遂行に直接起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任\*1)によって保険の対象となる方が被る損害

・保険の対象となる方およびその同居の親族に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

・第三者との間の特別な約定により加重された損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

・保険の対象となる方が所有、使用または管理する財物\*2の損壊について、その財物について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

・心神喪失に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

・航空機、船舶、車両\*3または銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

・以下のような事由により、その受託品について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

- 保険の対象となる方の自殺行為、犯罪行為または闘争行為
- 差押え、収用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使
- 受託品が通常有する性質や性能を欠いていること
- 自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い
- 受託品が有する機能の喪失または低下を伴わないすり傷、かき傷、塗料の剥がれ落ち、単なる外観上の損傷や汚損
- 受託品に対する加工や修理・点検等の作業上の過失または技術の拙劣に起因する損害
- 受託品の電氣的または機械的事故
- 受託品の置き忘れまたは紛失\*4
- 詐欺または横領
- 風、雨、雪、雹(ひょう)、砂塵(さじん)等の吹き込みや浸み込みまたは漏入
- 受託品が委託者に引き渡された後に発見された受託品の損壊

等

\*1 保険の対象となる方がゴルフの競技または指導を職業としている方以外の場合、ゴルフの練習、競技または指導\*5中に生じた事故による損害賠償責任は除きます。

\*2 受託品、ホテルまたは旅館等の宿泊が可能な施設および施設内の動産、ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。

\*3 自転車やゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。

\*4 置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。

\*5 ゴルフの練習、競技または指導に付随してゴルフ場、ゴルフ練習場敷地内で通常行われる更衣、休憩、食事、入浴等の行為を含みます。

## 介護補償(年金払介護)

※ご加入いただくタイプによっては保険金のお支払対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料表」等をご確認ください。

保険の対象となる方が、保険期間中に公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態となった場合に、最初に要介護状態\*1となったその日から毎年1回、その日を含めて最大10年間(10回)にわたり保険金をお支払いします。

この補償については、死亡に対する補償はありません。

保険金のお支払対象となっていない身体障害の影響等によって、保険金を支払うべき要介護状態\*1の程度が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。詳細は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

\*1 公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態をいいます。

### [介護補償基本特約+年金払介護補償特約] 《保険金をお支払いする主な場合》

・第1回年金払介護補償保険金  
既に第1回年金払介護補償保険金がお支払された場合に、てん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2ごとに、保険の対象となる方が要介護状態\*3に該当しているとき  
▶年金払介護補償保険金額をお支払いします。

・第2回以後年金払介護補償保険金  
既に第1回年金払介護補償保険金がお支払された場合に、てん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2ごとに、保険の対象となる方が要介護状態\*3に該当しているとき  
▶年金払介護補償保険金額をお支払いします。  
※てん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2時点で、公的介護保険制度に基づく要介護3以上から要介護2以下に回復している年度は保険金をお支払いしません。その翌年度以降のてん補期間\*1中の保険金支払基準日\*2に、再度要介護状態\*3に該当している場合は、保険金のお支払いを再開します。この場合も、てん補期間\*1は1回目の保険金支払基準日\*2から通算した期間となります。  
(例：最初に保険金をお支払いした後、すぐに回復したため、翌年以降5年間保険金をお支払いをしていない場合、その翌年に別の理由で再度要介護状態\*3に該当し、それが継続したとしても、その後の保険金のお支払いは最大4年分となります。)

上記にかかわらず、保険の対象となる方がてん補期間\*1中に死亡した後の保険金支払基準日\*2においては、保険金をお支払いしません。

\*1 第1回年金払介護補償保険金の保険金支払事由に該当したその日から起算して10年(10回目の保険金支払基準日\*2まで)をいいます。

\*2 1回目は最初に保険金を支払うべき要介護状態\*3に該当した日、2回目以降は1回目から数えて翌年以降の毎年の応当日をいいます。

\*3 公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態をいいます。

### [介護補償基本特約+年金払介護補償特約] 《保険金をお支払いしない主な場合》

・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた要介護状態\*1  
・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた要介護状態  
・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた要介護状態(その方が受け取るべき金額部分)  
・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた要介護状態  
・無免許運転や酒気帯び運転をしている間の事故により生じた要介護状態  
・麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた要介護状態  
・アルコール依存および薬物依存によって生じた要介護状態  
・先天性疾患によって生じた要介護状態  
・医学的他覚所見のないむちうち症や腰痛等によって生じた要介護状態  
・この保険契約が継続されてきた最初の保険契約(初年度契約といえます。)の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ等による要介護状態\*2\*3

等

\*1 該当した保険の対象となる方の数の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合は、その程度に応じ、保険金の全額をお支払いすることや、その金額を削減してお支払いすることがあります。

\*2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ等による要介護状態についても、初年度契約の保険始期日から1年を経過した後に開始した要介護状態\*4については、保険金のお支払対象となります。

\*3 要介護状態の原因が告知対象外の病気やケガであったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払対象とならないことがあります。

\*4 公的介護保険制度に基づく要介護3以上の認定を受けた状態をいいます。

※保険期間の開始時以降に公的介護保険制度の改正が行われた場合には、その制度の改正の内容または程度等に応じ、この保険契約の保険期間の開始時点において有効な公的介護保険制度に基づく要介護3以上に相当すると認められる状態を要介護状態とみなします。

このパンフレットは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、「お問い合わせ先」までご連絡ください。

## 賠償責任に関する補償

※ご加入いただくタイプによっては保険金のお支払対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料表」等をご確認ください。

### [個人賠償責任補償特約] 《保険金をお支払いする主な場合》

国内外において以下のような事由により、保険の対象となる方が法律上の損害賠償責任を負う場合

- 日常生活に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合
- 保険の対象となる方が居住に使用する住宅の所有、使用または管理に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合
- 電車等\*1を運行不能にさせた場合
- 国内で受託した財物(受託品)\*2を壊したり盗まれた場合
- ▶1事故について保険金額を限度に保険金をお支払します。

※国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。  
※東京海上日動との直接折衝について相手方の同意が得られない場合や保険の対象となる方に損害賠償責任がない場合等には、相手方との示談交渉はできませんのでご注意ください。

※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。

※記載している保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。

※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。

- \*1 汽車、電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用具をいいます。
- \*2 以下のものは受託品には含まれません。

自動車、原動機付自転車、自転車、船舶、サーフボード、ラジコン模型、携帯電話、スマートフォン、ノート型パソコン、タブレット端末、モバイルWi-Fiルーター、コンタクトレンズ、眼鏡、手形その他の有価証券、クレジットカード、設計書、帳簿、動物や植物等の生物、乗車券、航空券、通貨、貴金属、宝石、美術品、データプログラム等の無体物、1個または1組で100万円を超える物

等

### [個人賠償責任補償特約] 《保険金をお支払いしない主な場合》

- ・ご契約者または保険の対象となる方等の故意によって生じた損害
- ・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害
- ・職務の遂行に直接起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任\*1)によって保険の対象となる方が被る損害
- ・保険の対象となる方およびその同居の親族に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
- ・第三者との間の特別な約定により加重された損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
- ・保険の対象となる方が所有、使用または管理する財物\*2の損壊について、その財物について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
- ・心神喪失に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
- ・航空機、船舶、車両\*3または銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
- ・以下のような事由により、その受託品について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害
  - 保険の対象となる方の自殺行為、犯罪行為または闘争行為
  - 差押え、取用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使
  - 受託品が通常有する性質や性能を欠いていること
  - 自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い
  - 受託品が有する機能の喪失または低下を伴わないすり傷、かき傷、塗料の剥がれ落ち、単なる外観上の損傷や汚損
  - 受託品に対する加工や修理・点検等の作業上の過失または技術の拙劣に起因する損害
  - 受託品の電氣的または機械的事故
  - 受託品の置き忘れまたは紛失\*4
  - 詐欺または横領
  - 風、雨、雪、雹(ひょう)、砂塵(さじん)等の吹き込みや浸み込みまたは漏入
  - 受託品が委託者に引き渡された後に発見された受託品の損壊

等

- \*1 保険の対象となる方がゴルフの競技または指導を職業としている方以外の場合、ゴルフの練習、競技または指導\*5中に生じた事故による損害賠償責任は除きます。
- \*2 受託品、ホテルまたは旅館等の宿泊が可能な施設および施設内の動産、ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。
- \*3 自転車やゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。
- \*4 置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。
- \*5 ゴルフの練習、競技または指導に付随してゴルフ場、ゴルフ練習場敷地内で通常行われる更衣、休憩、食事、入浴等の行為を含みます。

このパンフレットは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

※所得補償、団体長期障害所得補償、医療補償、がん補償、介護補償が解除となった後、新たにご加入される場合には、新たにご加入については、保険の対象となる方の健康状態等によりお引受けをお断りさせていただくことがあります。その他ご注意ください内容につきましては、「Ⅱ-1告知義務」をご確認ください。

\*1ご加入者によってご加入された、すべての保険の対象となる方およびすべての補償をいいます(例えば、加入内容変更による変更保険料を払込みいただけない場合、変更保険料を払込みいただけない補償だけでなく、ご加入されているすべての保険の対象となる方およびすべての補償が対象となります。)



## 7 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

## Ⅱ ご加入時におけるご注意事項

### 1 告知義務

加入依頼書等に★や☆のマークが付された事項は、ご加入に関する重要な事項(告知事項)ですので、正確に記載してください(東京海上日動の代理店には、告知受領権があります。)。お答えいただいた内容が事実と異なる場合や告知事項について事実を記載しない場合は、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

※告知事項かつ通知事項には☆のマークが付されています。通知事項については「Ⅲ-1通知義務等」をご参照ください。

なお、告知事項は、お引受けする補償ごとに異なり、お引受けする補償によっては、★や☆のマークが付された事項が告知事項にあたる場合もあります。お引受けする補償ごとの告知事項は下表をご確認ください(項目名は補償によって異なることがあります。)。また、ご加入後に加入内容変更として下表の補償を追加する場合も同時に、変更時点での下表の事項が告知事項となります。

### [告知事項・通知事項一覧]

★：告知事項 ☆：告知事項かつ通知事項

項目名	基本補償・特約	傷害補償	所得補償	団体長期障害所得補償	医療補償 がん補償	介護補償	個人賠償責任 借家人賠償責任 携行品 住宅内生活用動産 救護者費用等 弁護士費用等 トラブル対策費用
生年月日	★*1	★	★	★	★	★	★*2
性別	—	—	★	★	★	★*3	—
職業・職務*4	☆*5	☆	—	—	—	—	—
健康状態告知*6	—	★	★	★	★	★	—

※すべての補償について「他の保険契約等\*7」を締結されている場合は、その内容についても告知事項(★)となります。また、医療費用補償特約(こども傷害補償)をセットされる場合には、「公的医療保険制度」についても告知事項かつ通知事項(☆)となります。

- \*1 こども傷害補償の場合のみ、告知事項となります。
- \*2 こども傷害補償にご加入される場合のみ、告知事項となります。
- \*3 年金払介護補償特約をセットされる場合のみ、告知事項となります。
- \*4 新たに職業に就いた場合や就いていた職業をやめた場合を含みます。
- \*5 交通事故傷害危険のみ補償特約、ゴルフ中の傷害危険のみ補償特約をセットされる場合には、告知事項・通知事項とはなりません。
- \*6 新たにご加入される場合、または更新にあたり補償内容をアップされる場合のみとなります。
- \*7 この保険以外にご契約されている、この保険と全部または一部について支払責任が同一である保険契約や共済契約をいいます。他の保険契約等がある場合、そのご契約の内容によっては、東京海上日動にて保険のお引受けができない場合があります。

### [所得補償・団体長期障害所得補償・医療補償・がん補償・介護補償の「告知」(健康状態告知書)]

#### ①告知義務について

保険制度は多数の人々が保険料を出しあって相互に補償しあう制度です。したがって、初めから健康状態の悪い方や危険な職業に従事している方等が他の方と同じ条件でご加入されると、保険料負担の公平性が保たれません。このため、ご加入にあたっては、必ず保険の対象となる方ご自身が、過去の病気やケガ、現在の健康状態、身体障害の状態等について「健康状態告知書」で東京海上日動がおたずねすることについて、事実をありのままに正確にもれなくご回答ください。なお、介護補償にご加入される場合または介護補償を追加される場合で、団体構成員のご家族(団体構成員の配偶者\*8、子供、両親、兄弟及び団体構成員と同居の親族)を保険の対象となる方とするときには、介護補償の健康状態告知に関して、保険の対象となる方からのご依頼を受けた団体構成員が保険の対象となる方の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただけます。その場合は、健康状態告知を行った方がご署名ください。

\*8 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます

- (以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限りです。婚姻とは異なります。)
- a. 婚姻意思\*9を有すること
- b. 同居により夫婦同様の共同生活を送っていること

\*9 戸籍上の性別が同一の場合は、夫婦同様の関係を将来にわたり継続する意思をいいます。

#### ②過去に病気やケガをされたことがある方等への引受対応について

東京海上日動では、ご加入者間の公平性を保つため、お客様のお身体の状態に応じた引受対応を行うことがあります。過去に病気やケガをされたことがある場合等にはお引受けできないことがあります。

#### ③告知が事実と相違する場合

告知していただく事柄は、告知書に記載してあります。もし、これらについて、その事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合、責任開始日\*10から1年以内であれば、東京海上日動は「告知義務違反」としてご加入を解除することがあります\*11。

- 責任開始日\*10から1年を経過していても、保険金の支払事由が1年以内に発生していた場合には、ご加入を解除することがあります。
- ご加入を解除した場合には、たとえ保険金をお支払いする事由が発生していても、これをお支払いすることはできません\*12(ただし、「保険金の支払事由の発生」と「解除の原因となった事実」との因果関係によっては、保険金をお支払いすることがあります。)
- \*10ご加入を更新されている場合は、告知されなかったり、事実と違うことを告知されたご契約の支払責任の開始日をいいます。
- \*11更新時に補償内容をアップされた場合は、補償内容をアップされた部分を解除することがあります。
- \*12更新時に補償内容をアップされた部分を解除した場合は、補償内容をアップされた部分については保険金をお支払いすることはできません。

#### <前記以外で、保険金をお支払いできない場合>

前記のご加入を解除させていただく場合以外にも、告知義務違反の内容が特に重大な場合、詐欺による取消し等を理由として、保険金をお支払いできないことがあります。この場合、告知義務違反による解除の対象外となる1年経過後にもご加入を取消し等させていただくことがあります。

(例)「現在の医療水準では治ゆが困難な病気・症状について故意に告知されなかった場合」等

#### ④告知内容の確認について

ご加入後、または保険金のご請求等の際、告知内容についてご確認させていただく場合があります。

## 2 クーリングオフ

ご加入される保険は、クーリングオフの対象外です。



## 3 保険金受取人



【**傷害補償**】

死亡保険金受取人を特定の方に指定する場合＊1は、必ず保険の対象となる方の同意を得てください（指定がない場合、死亡保険金は法定相続人にお支払いします。）。同意のないままにご加入をされた場合、ご加入は無効となります。

死亡保険金受取人を特定の方に指定する場合は、保険の対象となる方のご家族等に対し、この保険へのご加入についてご説明くださいますようお願いいたします。死亡保険金受取人の指定を希望される場合は、お手数ですが、《お問い合わせ先》までお申ください。＊1 家族型補償（本人型以外）の場合、保険の対象となる方ご本人以外の保険の対象となる方について、死亡保険金受取人を特定の方に指定することはできません。

【**がん補償**】

保険金受取人を特定の方に指定する場合＊2は、必ず保険の対象となる方の同意を得てください（原則として親族の中から、1名を選択してください。指定がない場合、保険金は保険の対象となる方にお支払いします。）。同意のないままにご加入をされた場合、ご加入は無効となります。＊2 家族型補償（本人型以外）の場合、配偶者およびお子様は保険金受取人を特定の方に指定することはできません（保険金受取人はその保険の対象となる方ご自身となります。）。

## 4 現在のご加入の解約・減額を前提とした新たなご契約のご注意



現在のご加入を解約、減額等をするを前提に、新たな保険契約へのご加入をご検討される場合は、特に以下の点にご注意ください。

- 補償内容や保険料が変更となったり、各種サービスを受けられなくなることがあります。
- 新たにご加入の保険契約の保険料については、団体契約の始期日時点の保険の対象となる方の年齢により計算されます。
- 新たにご加入の保険契約の保険料の計算の基礎となる予定利率・予定死亡率等が、解約・減額される契約と異なることがあります。
- 保険の対象となる方の健康状態等により、お引受けをお断りする場合があります。
- 新たにご加入の保険契約に対しても告知義務がありますので、告知義務違反による解除や詐欺による取消しが適用される場合があります。
- 新たにご加入の保険契約の保険始期前に被った傷病に対しては、保険金が支払われない場合があります。
- 新たにご加入の保険契約の保険始期日と責任開始日が異なることがあります。この場合、現在のご加入を解約すると補償のない期間が発生することがあります。

# Ⅲ ご加入後におけるご注意事項



## 1 通知義務等

【**通知事項**】

加入依頼書等に☆のマークが付された事項（通知事項）に内容の変更が生じた場合には、遅滞なく《お問い合わせ先》までご連絡ください。ご連絡がない場合は、お支払いする保険金が削減されることがあります。なお、通知事項はお引受けする補償ごとに異なり、お引受けする補償によっては、☆のマークが付された事項が通知事項にあたらない場合もあります。お引受けする補償ごとの通知事項は、「Ⅱ-1 告知義務 [告知事項・通知事項一覧]」をご参照ください。

【**その他ご連絡いただきたい事項**】

- すべての補償共通
  - ご加入者の住所等を変更した場合は、遅滞なく《お問い合わせ先》までご連絡ください。
- 所得補償、団体長期障害所得補償
  - 保険期間の中途において保険の対象となる方の平均月間所得額＊1がご加入時の額より減少した場合には、《お問い合わせ先》までご連絡のうえ、所得補償の場合は保険金額、団体長期障害所得補償の場合は支払基礎所得額の見直しについてご相談ください。
    - ＊1 直前12か月における保険の対象となる方の所得＊2の平均月額をいいます（ただし、所得補償で家事従事者特約をセットされる場合は、183,000円となります。）。
    - ＊2 所得補償の場合は、「加入依頼書等に記載の職業・職務によって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業不能の発生にかかわらず得られる収入」および「就業不能により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。団体長期障害所得補償の場合は、「業務に従事することによって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業障害の発生にかかわらず得られる収入」および「就業障害により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。
- 借家人賠償責任
  - 保険の対象となる方の住所を変更する場合には、あらかじめ《お問い合わせ先》までご連絡ください。

【**ご加入後の変更**】

ご加入後、ご加入内容変更や脱退を行う際には変更日・脱退日より前にご連絡ください。また、保険期間中に、本保険契約の加入対象者でなくなった場合には、脱退の手続きをいただく必要がありますが、保険期間の終了時までには補償を継続することが可能なケースがありますので、《お問い合わせ先》までご連絡ください。ご加入内容変更をいただいてから1か月以内に保険金請求のご連絡をいただいた場合には、念のため、《お問い合わせ先》の担当者に、その旨をお伝えいただけますようお願いいたします。

## 2 解約されるとき



ご加入を解約される場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

- ご加入内容および解約の条件によっては、東京海上日動所定の計算方法で保険料を返還、または未払保険料を請求＊1することがあります。返還または請求する保険料の額は、保険料の払込方法や解約理由により異なります。
- 返還する保険料があっても、原則として払込みいただいた保険料から既経過期間＊2に対して「月割」で算出した保険料を差し引いた額よりも少なくなります。
- 満期日を待たずに解約し、新たにご加入される場合、補償内容や保険料が変更となったり、各種サービスを受けられなくなることがあります。

- ＊1 解約日以降に請求することがあります。
- ＊2 始期日からその日を含めて解約日までの、既に経過した期間をいいます。

## 3 保険の対象となる方からのお申出による解約



傷害補償・所得補償・団体長期障害所得補償・医療補償・がん補償・介護補償においては、保険の対象となる方からのお申出により、その保険の対象となる方に係る補償を解約できる制度があります。制度および手続きの詳細については、《お問い合わせ先》までご連絡ください。また、本内容については、保険の対象となる方全員にご説明くださいますようお願いいたします。

## 4 満期を迎えるとき



【**保険期間終了後、補償の更新を制限させていただく場合**】

- 所得補償
  - 就業不能の原因となった病気、保険金請求状況等によっては、次回以降の補償の更新をお断りすることがあります。
- 上記以外の補償共通
  - 保険金請求状況や年齢等によっては、次回以降の補償の更新をお断りさせていただくことや、引受条件を制限させていただくことがあります。
- 東京海上日動が普通保険約款、特約または保険引受に関する制度等を改定した場合には、更新後の補償については更新日における内容が適用されます。この結果、更新後の補償内容等が変更されることや更新できないことがあります。

【**更新後契約の保険料**】

保険料は、補償ごとに、更新日現在の年齢および保険料率等によって計算します。したがって、その補償の更新後の保険料は、更新前の保険料と異なることがあります。

【**補償対象外となる病気・症状を設定してお引受けしている場合**】

所得補償・団体長期障害所得補償・医療補償において、更新前契約に補償対象外となる病気・症状が設定されている場合であっても、更新にあたり新たに「健康状態告知書」のすべての質問事項について告知いただくことで、補償対象外となる病気・症状を設定しない加入内容に変更できる場合があります。ただし、新たにいただいた告知の内容により、お引受けをお断りさせていただくことがありますので、ご注意ください。

【**更新後契約の補償内容を拡充する場合**】

所得補償、団体長期障害所得補償、医療補償、がん補償、介護補償において、更新時に保険の対象となる方の追加や保険金額＊1の高いタイプへの変更、口数の増加等、補償内容をアップする場合には、再度告知が必要となります。正しく告知をいただけない場合には、補償内容をアップされた部分を解除することがあります。ご加入を解除する場合、補償内容をアップされた部分については保険金をお支払いできないことがあります。＊1 団体長期障害所得補償については、支払基礎所得額×約定給付率とします。

【**保険金請求忘れのご確認**】

ご加入を更新いただく場合は、更新前の保険契約について保険金請求忘れがないか、今一度ご確認をお願いいたします。ご請求忘れや、ご不明な点がございましたら、《お問い合わせ先》まですぐにご連絡ください。なお、パンフレット等記載の内容は本年度の契約更新後の補償内容です。更新前の補償内容とは異なることがありますので、ご注意ください。

【**更新加入依頼書等記載の内容**】

更新加入依頼書等に記載しているご加入者（団体の構成員）の氏名（ふりがな）、社員コード、所属等についてご確認いただき、変更があれば訂正いただきますようお願いいたします。また、現在のご加入内容についてもあわせてご確認いただき、変更がある場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

【**ご加入内容を変更されている場合**】

ご加入内容を変更されている場合、お手元の更新加入依頼書等には反映されていない可能性があります。なお、自動更新される場合は、ご契約はこの更新加入依頼書等記載の内容にかかわらず、満期日時点のご加入内容にて更新されます。

# Ⅳ その他ご留意いただきたいこと

## 1 個人情報の取扱い

- 保険契約者である企業または団体は引受保険会社に本契約に関する個人情報を提供いたします。引受保険会社および引受保険会社のグループ各社は、本契約に関する個人情報を、保険引受の判断、本契約の管理・履行、付帯サービスの提供、他の保険・金融商品等の各種商品・サービスの案内・提供、アンケート等を行うために利用する他、下記①から⑥の利用・提供を行うことがあります。なお、保健医療等の特別な非公開情報（センシティブ情報）の利用目的は、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定されています。
  - 本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含みます。）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先、金融機関等に対して提供すること
  - 契約締結、保険金支払い等の判断をするうえでの参考とするために、他の保険会社、一般社団法人日本損害保険協会等と共同して利用すること
  - 引受保険会社と引受保険会社のグループ各社または引受保険会社の提携先企業等との間で商品・サービス等の提供・案内のために、共同して利用すること
  - 再保険契約の締結、更新・管理、再保険金支払等に利用するために、国内外の再保険引受会社等に提供すること
  - 質権、抵当権等の担保権者における担保権の設定等に係る事務手続きや担保権の管理・行使のために、その担保権者に提供すること
  - 更新契約に係る保険引受の判断等、契約の安定的な運用を図るために、保険の対象となる方の保険金請求情報等（過去の情報を含みます。）をご契約者およびご加入者に対して提供すること
詳しくは、東京海上日動火災保険株式会社のホームページ(www.tokiomarine-nichido.co.jp)および他の引受保険会社のホームページをご参照ください。
  - 損害保険会社等の間では、傷害保険等について不正契約における事故招致の発生を未然に防ぐとともに、保険金の適正かつ迅速・確実な支払を確保するため、契約締結および事故発生の際、同一の保険の対象となる方または同一事故に係る保険契約の状況や保険金請求の状況について一般社団法人日本損害保険協会に登録された契約情報等により確認を行っております。これらの確認内容は、上記目的以外には用いません。

## 2 ご加入の取消し・無効・重大事由による解除について

- 傷害補償で、ご加入者以外の方を保険の対象となる方とすることご加入について、死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に指定する場合、その保険の対象となる方の同意を得なかったときは、ご加入は無効となります。
- がん補償について、以下に該当する事由がある場合、ご加入は無効となります。
  - ①この保険が継続されてきた最初のご加入（初年度契約といいます。）の保険始期前に、保険の対象となる方ががんと診断確定されていた場合
  - ②保険金受取人を保険の対象となる方以外の方に指定する場合において、その保険の対象となる方の同意を得なかったとき（その保険の対象となる方を保険金受取人にする場合は除きます。）
- ご契約者、保険の対象となる方または保険金の受取人が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合には、東京海上日動はご加入を解除することができます。
- その他、約款等に基づき、ご加入が取消し・無効・解除となる場合があります。

## 3 ご加入手続き等の猶予に関する特別措置について

自然災害や感染症拡大の影響によりご加入手続き等を行うことが困難な場合に、「更新契約のご加入手続き」および「保険料相当額の払込み」に関して一定の猶予期間を設ける特別措置をご利用いただける場合があります。

※ご利用いただける特別措置の詳細につきましては、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

## 4 保険会社破綻時の取扱い等

- 引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。
- 引受保険会社の経営が破綻した場合には、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は、補償内容ごとに下表のとおりとなります。

補償内容	保険期間	経営破綻した場合等のお取扱い
傷害補償、賠償責任に関する補償、財産に関する補償、費用に関する補償	1年以内	原則として80％（破綻保険会社の支払停止から3か月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100％）まで補償されます。
	1年超	原則として90％まで補償されます。ただし、破綻後に予定利率等の変更が行われた場合には、90％を下回ることがあります。
所得補償、団体長期障害所得補償、医療補償、がん補償、介護補償		



## 5 その他ご加入に関するご注意事項

- 東京海上日動の代理店は東京海上日動との委託契約に基づき、保険契約の締結・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、東京海上日動の代理店と有効に成立したご契約については東京海上日動と直接締結されたものとなります。



- 加入者票はご加入内容を確認する大切なものです。加入者票が到着しましたら、ご意向どおりのご加入内容になっているかどうかをご確認ください。また、加入者票が到着するまでの間、パンフレットおよび加入依頼書控等、ご加入内容がわかるものを保管いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。なお、パンフレット等にはご加入上の大切なことが記載されていますので、ご一読のうえ、加入者票とともに保険期間の終了時まで保管してご利用ください。
- ご契約が共同保険契約である場合、各引受保険会社はそれぞれの引受割合に応じ、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。また、幹事保険会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。引受保険会社については、〈共同保険引受保険会社について〉をご確認ください。

## 6 事故が起こったとき

- 事故が発生した場合には、直ちに（介護補償については遅滞なく、所得補償、団体長期障害所得補償、医療補償、がん補償等については30日以内に）《お問い合わせ先》までご連絡ください。
- 賠償責任に関する補償において、賠償事故にかかわる示談交渉は、必ず東京海上日動とご相談いただきながらご対応ください。
- 保険金のご請求にあたっては、約款に定める書類のほか、以下の書類または証拠をご提出いただく場合があります。
  - ・印鑑登録証明書、住民票または戸籍謄本等の保険の対象となる方、保険金の受取人であることを確認するための書類
  - ・東京海上日動の定める傷害もしくは疾病の程度、治療内容および治療期間等を証明する保険の対象となる方以外の医師の診断書、領収書および診療報酬明細書等（からだに関する補償においては、東京海上日動の指定した医師による診断書その他医学的検査の対象となった標本等の提出を求める場合があります。）
  - ・他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書等、東京海上日動が支払うべき保険金の額を算出するための書類
  - ・高額療養費制度による給付額が確認できる書類
  - ・附加給付の支給額が確認できる書類
  - ・東京海上日動が保険金を支払うために必要な事項の確認を行うための同意書
  - ・公的介護保険制度の要介護認定等を証明する書類（介護補償（年金払介護）においては、それぞれの保険金支払基準日において有効な書類とします。）
- 保険の対象となる方または保険金の受取人に保険金を請求できない事情があり、保険金の支払いを受けるべき保険の対象となる方または保険金の受取人の代理人がいけない場合は、保険の対象となる方または保険金の受取人の配偶者\*1または3親等内のご親族（あわせて「ご家族」といいます。）のうち東京海上日動所定の条件を満たす方が、保険の対象となる方または保険金の受取人の代理人として保険金を請求できる場合があります。
  - \*1 法律上の配偶者に限ります。
- 保険の対象となる方または保険金の受取人の代理人として保険金のご請求をされる場合は、以下の点についてご了承ください。
  - ・保険金をお支払いした場合、保険の対象となる方には原則その旨のご連絡はいたしません。保険金のお支払後に、保険の対象となる方（またはご加入者）からご加入内容についてご照会があったときは、保険金をお支払いした旨回答せざるを得ないことがあります。このため、保険の対象となる方（またはご加入者）に傷病名等を察知される可能性があります。
  - ・保険金のご請求があったことを保険の対象となる方（またはご加入者）が知る可能性がある具体的事例は以下のとおりです。
    1. 保険の対象となる方（またはご加入者）が東京海上日動にご加入内容をご照会された場合
    2. 特約の失効により、ご加入者が保険料の減額を知った場合
    3. ご加入者がご加入内容の変更手続きを行う場合
- 本内容については、ご家族の皆様にご説明ください。
- 保険金請求権には時効（3年）がありますのでご注意ください。
- 損害が生じたことにより保険の対象となる方等が損害賠償請求権その他の債権を取得した場合、東京海上日動がその損害に対して保険金を支払ったときは、その債権の全部または一部は東京海上日動に移転します。
- 賠償責任に関する補償において、保険の対象となる方が賠償責任保険金等をご請求できるのは、費用保険金を除き、以下の場合に限られます。
  1. 保険の対象となる方が相手方に対して既に損害賠償としての弁済を行っている場合
  2. 相手方が保険の対象となる方への保険金支払を承諾していることを確認できる場合
  3. 保険の対象となる方の指図に基づき、東京海上日動から相手方に対して直接、保険金を支払う場合

事故受付センター（東京海上日動安心110番）のご連絡先は、後記をご参照ください。

### 東京海上日動火災保険株式会社

保険の内容に関するご意見・ご相談等はパンフレット等記載の《お問い合わせ先》にて承ります。

### 一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター（指定紛争解決機関）

東京海上日動火災保険（株）は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。東京海上日動火災保険（株）との間で問題を解決できない場合には、同協会に解決の申し立てを行うことができます。詳しくは、同協会のホームページをご確認ください。（<https://www.sonpo.or.jp/>）

0570-022808

IP電話からは03-4332-5241をご利用ください。  
受付時間：平日 午前9時15分～午後5時  
（土日祝・年末・年始はお休みとさせていただきます。）



### <共同保険引受保険会社について>

引受保険会社	引受割合	引受保険会社	引受割合

本説明書はご加入いただく保険に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細につきましては、「団体総合生活保険 普通保険約款および特約」に記載しています。必要に応じて、団体までご請求いただくか、東京海上日動のホームページでご参照ください（ご契約により内容が異なっていたり、ホームページに保険約款を掲載していない商品もあります。）。ご不明点等がある場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

インターネット等によりお手続きされる場合は、加入依頼書等へ記載することにかえて、画面上に入力してください。また、本説明書中の「健康状態告知書」は「健康状態の告知の画面」と読み替えてください。

東京海上日動のホームページのご案内  
[www.tokiomarine-nichido.co.jp](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp)

事故受付センター  
（東京海上日動安心110番）

0120-720-110

受付時間：24時間365日

## ご加入内容確認事項（意向確認事項）

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご加入いただく保険商品がお客様のご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しく記入をいただいていること等を確認させていただくためのものです。お手数ですが以下の各質問事項について再度ご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、ご確認にあたりご不明な点等がございましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

1. 保険商品が以下の点でお客様のご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項説明書等でご確認ください。万一、ご希望に合致しない場合はご加入内容を再度ご確認ください。
  - 保険金をお支払いする主な場合
  - 保険期間
  - 保険の対象となる方
  - 保険金額\*1、免責金額（自己負担額）
  - 保険料・保険料払込方法
2. 加入依頼書等の記入事項等につき、以下の点をご確認ください。万一、記入漏れ、記入誤りがある場合は、加入依頼書等を訂正してください。また、下記事項に関し、現在のご加入内容について誤りがありましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

確認事項	傷害補償	所得補償	がん補償	介護補償	左記以外の補償
<input type="checkbox"/> 加入依頼書等の「生年月日」または「満年齢」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？	○*1	○	○	○	—
<input type="checkbox"/> 加入依頼書等の「職業・職務」欄、「職種級別」欄は正しくご記入いただいていますか？	○	—	—	—	—
<input type="checkbox"/> 加入依頼書等の「職業・職務」欄は正しくご記入いただいていますか？	—	○	—	—	—
<input type="checkbox"/> 保険金額*2は、平均月間所得額*3以下となっていますか？（平均月間所得額*3を上回っている場合には、その上回る部分については保険金をお支払いできませんので、ご注意ください。） なお、保険金額*2の設定方法やお引受けできる限度額についてはパンフレット等をご確認ください。 *1 「平均月間所得額」とは、加入申込み直前12か月における保険の対象となる方の所得の平均月額をいいます。	—	○	—	—	—
●『健康状態告知が必要な場合のみ』をご確認ください。 <input type="checkbox"/> 保険の対象となる方が「健康状態告知」欄に正しく告知いただいていますか？ *2 天災危険補償特約および介護と仕事の両立支援特約の両方またはいずれかのみを追加する場合は、告知は不要です（他の条件に変更がない場合に限ります。） *3 介護補償については、保険の対象となる方からのご依頼を受けた団体構成員が保険の対象となる方の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただくことも可能です。	—	○*4	○	○*5	—
<input type="checkbox"/> 加入依頼書等の「他の保険契約等」欄は正しく告知いただいていますか？	○	○	○	○	○

### 3. 重要事項説明書の内容についてご確認いただけましたか？

特に「保険金をお支払いしない主な場合」、「告知義務・通知義務等」、「補償の重複に関するご注意\*1」についてご確認ください。

\*1 例えば、個人賠償責任補償特約をご契約される場合で、他に同種のご契約をされているとき等、補償範囲が重複することがあります。

※インターネット等によりお手続きされる場合は、本確認事項中の「記入」を「入力」と読み替えてください。